

グラビア研究会第2回グラビア基礎講座に参加して

星野友美*

Tomomi HOSHINO*

グラビア研究会第2回グラビア基礎講座が、平成28年6月21日(火)に日本印刷会館会議室にて開催された。「フィルム、印刷機、製版及びインキの基礎からトラブル対処まで」をテーマに、4名の講師の方の講演があった。昨年の第1回との違いは、フィルムの講演が加わり、ラミネートの講演が無くなったことである。また、第2回の基礎講座では、個々の講演時に質疑応答の時間を設定せずに、すべての講演の終了後に講師・委員を囲んだグループミーティングの時間が設定され、聴講者の疑問に個々に答えるユニークな企画が盛り込まれていた。基礎講座は2回目とのことであったが、80名の募集に対して今年も定員を超過する105名の参加申し込みが有り、空席が数席しかない盛会ぶりであった。また、申込者全員が欠席することなく開始時間に揃っていて、まるで学校の授業を受けるような気分になった(写真1)。



写真1 会場風景

冒頭、この企画の共催団体の田口理事長からご挨拶があり、会場を埋め尽くす若い世代の心に響くエールのように受け留めた(写真2)。

筆者は、グラビア研究会の企画に初めて参加した。以下に、参加した際の印象をまとめた。



写真2 開催の挨拶をする田口理事長

1. グラビア印刷時のフィルムの取り扱いに関する留意点 —フィルムの基礎から印刷・加工トラブル対処まで—

東洋紡(株)パッケージング開発部 松田 明氏
グラビア印刷におけるトラブルを、「フィルムの物性」という観点からご説明頂いた。例えば、フィルムの濡れ張力はインキの転移不良トラブルと、表面抵抗率は静電気トラブル(インキのはじきやヒゲ)と関係しており、フィルムの特性や保管条件に留意することがそれぞれ回避のポイントである。

フィルム製造工程という基礎的な内容から実用的なトラブル対処まで学ぶことができ、大変興味深い内容であった。この機会を生かし、今後の自身の業務においても、インキやフィルムといった複数の視点から多角的な考察をするよう心掛けたい。

2. グラビア印刷機の基礎

富士機械工業(株)技術部 西村高博氏
グラビア印刷機の機械構成についてご説明頂くとともに、適切な張力を保つことは印刷物のしわや見当ずれなどのトラブルを防ぐために重要なポイントである点を解説して頂いた。

印刷機の構成や仕組みなどについて腰を据えて学ぶ機会は少なかったため、今回の講演内容は大変勉強になった。原理を正しく理解して印刷機を使用することで、不要なト

*東洋インキ(株)
(〒350-0803 埼玉県川越市大字栄1番地 V棟技術センター コンバーティング技術本部)

トラブルを避け、業務効率の向上につなげたいと感じた。

3. グラビア製版の基礎

東洋 FPP (株) 松崎徳治氏

グラビア製版における画像・製版作業の過程、製版方式などについて図や写真を用いてわかりやすくご講演頂いたが、特に興味深かったのは製版方式と印刷効果の関係である。彫刻法では豊かな階調表現が可能だが文字の鮮明さに欠ける、一方腐食法ではその逆である、という特徴があり、版の性質を知り活用することでより質の高い印刷物を得ることができるを知る事ができた。

「製版」は受注したデザインをグラビア印刷物として具現化するための重要な工程であり、画像・製版作業において様々なテクノロジーを駆使していると改めて学ぶことができた。

4. グラビア印刷のトラブルシューティング

東洋インキ(株) 安田秀樹氏

印刷工程中の様々なトラブルについての原因と対策を、インキを中心として総合的に解説頂いた。

グラビア印刷のトラブルは、複数の要因が複雑に絡み合って発生する場合が多い。しかし個々の現象に関しては発生のメカニズムに特徴があり、発生原因を把握していれば事前に回避したり、迅速に対処したりすることができる。

トラブルシューティングで重要なのは、発生したトラブルの現象を注意深く観察することであり、発生時の状況確認、現物(印刷物やインキ)のサンプリングを行うことが原因特定の近道である。

印刷トラブルについて包括的にご説明頂いたことで、内容を整理して理解できた。今回は知識を得ることができたので、今後はその知識をもとにトラブル原因を特定できる「眼」を業務の中で養っていきたい。

5. 各講師とのグループディスカッション

グラビア研究会の集客企画においても初めての試みとのことで、会場を埋め尽くしている参加者の振り分けに少々時間がかかり、参加者側にも戸惑いが見受けられた。グループディスカッションのやり方も各グループごとに任せられており、参加者が少ないグループではスクール方式でコンパクトに質疑応答に当たっていたが、大きなグループでは質問を待つ人ばかりができ、対応にあたった講師の方や委員の方も大変そうであったため、効率的にコミュニケーションをとれる工夫・改善が必要であると感じた(写真3)。

とはいえ、講演会等で講師の方に直接話を聞けるような場面は皆無に近く、講演の内容だけでなく、日頃の仕事において疑問に思っていることなどを含めて聞けることは、参加者にとってとてもありがたいことであった。



講演 1 (フィルム)



講演 2 (印刷機)



講演 3 (製版)



講演 4 (インキ)

写真 3 グループディスカッションの様子